



家族を

やめたい

人たちへ

架空の犬と 嘘をつく猫

高杉真宙

伊藤万理華 深川麻衣 安藤裕子 向里祐香 ヒコロヒー

／安田 顕 余 貴美子 柄本 明

監督: 森ガキ侑大

脚本: 菅野友恵

原作: 寺地はるな『架空の犬と嘘をつく猫』(中央公論新社刊)

音楽: Cali Wang

製作幹事・配給: ボニーキャニオン 制作プロダクション: ヒューマックスエンタテインメント ホリプロ

文化庁文化芸術振興費補助金(映画創造活動支援事業)独立行政法人日本芸術文化振興会

©2025 映画「架空の犬と嘘をつく猫」製作委員会

憎らしいけど愛おしい、「嘘」が紡ぐ家族のカタチ



弟の死により現実を見なくなった母親を筆頭に、家族誰もが“不都合な真実”から目をそらし、それでもなお一緒に暮らしている、機能不全の羽猫家。その中で、少年・山吹はただ一人、家族と向き合いながら成長していく。原作は、『川のほとりに立つ者は』で本屋大賞にノミネートされた寺地はるなの同名小説。監督は『愛に乱暴』で世界の映画祭を沸かせた森ガキ侑大。本作も世界15大映画祭の一つ、タリン・ブラックナイト映画祭のコンペティション部門に選出され、その手腕は日本だけでなく世界でも高く評価されている。脚本は『浅田家!』で日本アカデミー賞脚本賞を受賞した菅野友恵。主人公・羽猫山吹には、確かな演技力と柔らかな存在感で物語を支える高杉真宙。共演には、正反対の女性像を体現する伊藤万理華と深川麻衣をはじめ、母・雪乃を演じる安藤裕子、姉・紅役の向里祐香、父・淳吾役の安田顕。そして祖母役に余貴美子、祖父役には柄本明ら幅広い世代の実力派俳優たちが集結した。積み重なった嘘は、愛の裏返し。彼らの“嘘”がほどかれたとき、家族は本当の意味で“家族”になっていく。

不完全で、やっかいで、 でもどこか愛おしい—。 ある家族の30年にわたる “嘘”と“愛”の物語

弟の死が受け入れられない母のため、
弟のフリをして母に手紙を書き続ける、小学生の山吹。
空想の世界に生きる母、愛人の元に逃げる父、
夢を語ってばかりの適当な祖父と“嘘”を扱い仕事をする祖母、
そして“嘘と嘘つきが嫌い”な姉。
一つ屋根の下に住んでいながらもバラバラに生きている家族の中で
山吹は今日も嘘をつきながら成長していく—。

高杉真宙

伊藤万理華 深川麻衣 安藤裕子 向里祐香 ヒコロヒー 鈴木砂羽 松岡依郁美 森田 想 高尾悠希 後藤剛範 長友郁真 はなわ / 安田 顕 余 貴美子 柄本 明
監督: 森ガキ侑大 脚本: 菅野友恵 原作: 寺地はるな『架空の犬と嘘をつく猫』(中央公論新社刊) 音楽: Cali Wang

製作: 菊池貞和 津嶋敬介 村松秀信 秋元己智雄 森ガキ侑大 安部順一 指山弘雄 友廣一雄 プロデューサー: 布川 均 赤澤賢司 宮川宗生 ラインプロデューサー: 眞保利基
撮影: 山崎 裕 照明: 尾下栄治 録音: 猪股正幸 美術: 中村三五 編集: 鈴木啓太 VFX: 須藤公平 スタイリスト: 高木阿友子 ヘアメイク: 西村佳苗 音響効果: 勝亦さくら 助監督: 鈴木雄大 制作担当: 羽出和也
映画『架空の犬と嘘をつく猫』製作委員会(ポニーキャニオン ホリプロ 東映エージェンシー ヒューマックスエンタテインメント KUJIRA 中央公論新社 サガテレビ ビーバースト)
制作協力: 佐賀県フィルムコミッション 製作幹事: 配給: ポニーキャニオン 制作プロダクション: ヒューマックスエンタテインメント ホリプロ
©2025 映画『架空の犬と嘘をつく猫』製作委員会 ●大分県 文化庁文化芸術振興費補助金(映画創造活動支援事業)独立行政法人日本芸術文化振興会 2025年/日本/125分/カラー/アメリカンビスタ/5.1ch/PG12



2026年1月9日(金)全国ロードショー

オリジナルステッカー付
ムビテカカード(1600円税込) 発売中!

